

LSフォーム

擁壁

従来のガラス繊維による引張強度の補強効果に加え
補強材と緊張材による複合効果で、これまで以上の曲げ耐力を実現

特長・ポイント

現場施工を合理化

ノーサポート、解体作業の解消、残材発生の解消。

作業効率の向上

- 製品重量：69kg/枚で人力による施工が可能です。重機の入らない狭小な現場や、急峻現場でも効率的に作業ができます。
- 耐荷重150kg/m²。製品の上で作業ができます。
※1枚に二人以上は乗らないでください。

コンパネ不使用による森林資源保護

ダイヤモンドカッターによる 現場加工が容易

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

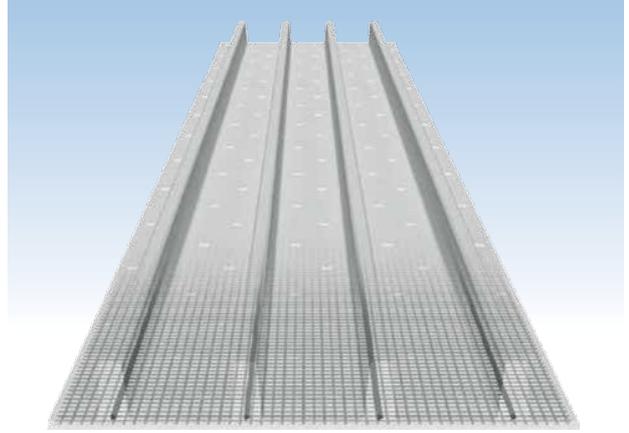
張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法その他

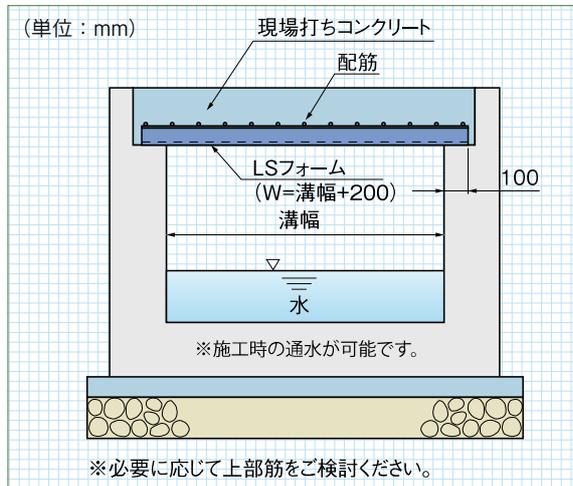


プレストレスの採用により従来のGRC製法と比較し約2倍の曲げ強度を実現しました。

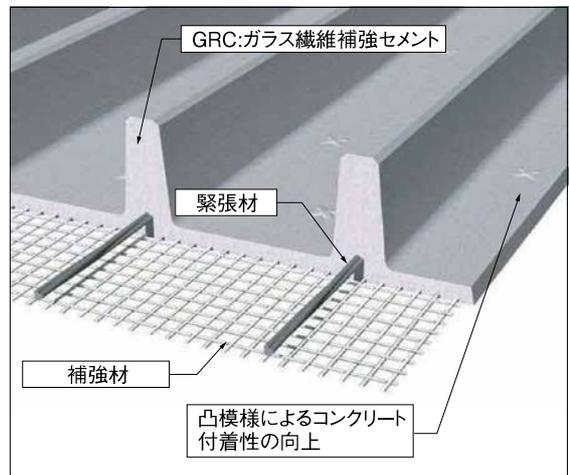
用途

- 長スパン用埋設型枠
溝幅1400以上の側溝暗渠型枠、建築、橋梁スラブ向け型枠等

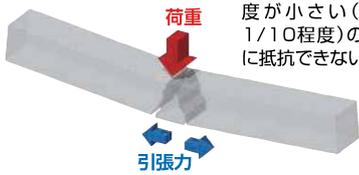
参考施工断面図



製品構造図

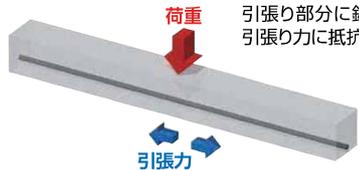


【無筋コンクリート】



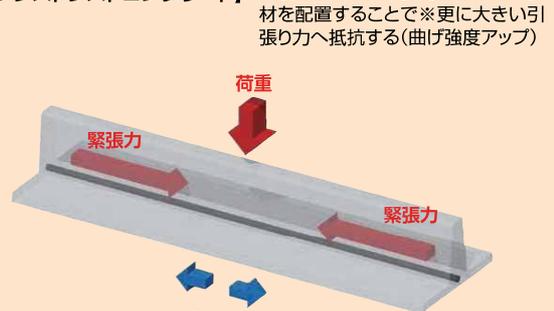
コンクリートだけは引張り強度が小さい(圧縮強度の1/10程度)ので、引張り力に抵抗できない。

【鉄筋コンクリート】



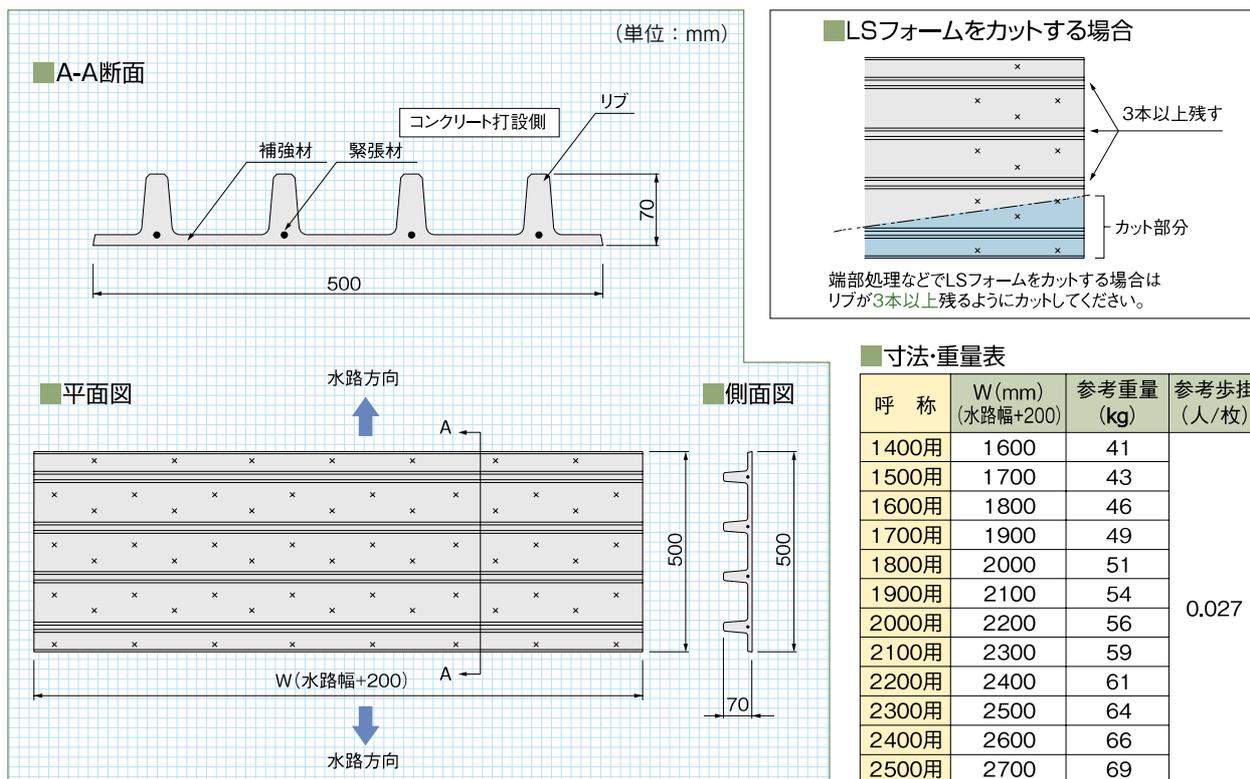
引張り部分に鉄筋を配置して引張り力に抵抗する。

【プレストレストコンクリート】



鉄筋のかわりに緊張力をかけた緊張材を配置することで※更に大きい引張り力へ抵抗する(曲げ強度アップ)

※プレテンション方式によるプレストレス導入



※施工時はリブがついた面が上(打設面)となるように敷設してください。

※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはキャンバー(緊張力による反り)がついていますが、コンクリートの打設後はフラットになります。

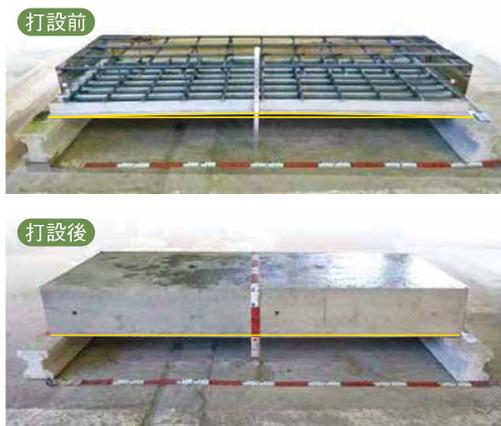
側溝・水路幅による製品の使い分け

水路幅:250~600	水路幅:600~1500	水路幅:1400~2500
KCフォーム	JSフォーム	LSフォーム

▼施工例



※コンクリート打設時の側圧でたわまないように製品にはキャンバー(緊張力による反り)がついていますが、コンクリートの打設後はフラットになります。



※必要に応じて上部筋をご検討ください。